

It is not the strongest of the species that survives ,
nor the most intelligent that survives.

It is the one that is most adaptable to change.

Charles Darwin

変化するもの

白根北中学校
学校だより

教育目標
自立 友愛 勇気



「進化論」で知られるイギリスの生物学者チャールズ・ダーウィンは上のような言葉を残したと言われます。この言葉の意味するところは諸説あるようです…。(中学生でも読み取れそうなので英文を紹介しました)

一般的に訳すと、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るでもない。唯一生き残るのは、変化するものである」となります。地球が誕生して約46億年と言われます。



この間に、どれだけの種の生命が誕生して進化し、そして絶滅していったのでしょうか。地球が誕生することさえ奇跡的と思える中で、次々と新たな生命が生まれ、

進化することの不思議さを思わずにはいられませんね。ダーウィンは変化することの大切さを私たちに教えてくれていると思いませんか。

ちなみに数学の授業をしていた頃、2年生『確率』の単元になると

「地球が誕生する確率は

どれくらいだと思う？」と

尋ねていました。分かりますか？



◆地域貢献企業『北の塔』始動◆

さて白根北中学校では、3年生を中心に総合的な学習の時間に「仮想株式会社『北の塔』」の活動に継続的に取り組んできました。創立30周年記念式典のリーフレットには平成21年にこの仮想株式会社が創業したとあります。(同じ年に、

「白北よさこい」「北の塔合唱団」も始まっており、「白北よさこい」は、創立20周年記念式典の際のオーピングセレモニーで披露されています)先輩方は、少しでも利益を

あげることができるよう、毎年、

知恵を絞り、コロナ禍で活動が制限

された時でさえ会社の新規事業を

提案する等してバトンをつないで

きました。その中で今年度、会社の

方針を、「利潤追求型」から「地域貢

献型」へ舵を切ることとしました。

それは歴代の先輩方が育てあげた

優良企業を否定するものではなく

これまで培ったノウハウを生かし、

時代にマッチした地域貢献企業に

発展させられないかという思いに

基づいたものです。

先日行われた「学校運営協議会」

では地域の方と「地域貢献とは？」

というテーマで意見交換しました。

新たな会社に変化を遂げる初年度

です。これからの活動へのご理解と

ご協力をお願いいたします。



◆ 地域の伝統に携わる ◆

白根絞りは白根地域で作られる絞り染めの名称。約300年前からあったと言われ、白根地区の特産として売られていました。愛知県の『鳴海絞』、大分県の『豊後絞』と並ぶ日本3大絞りの1つに数えられていたのですが、戦争や火災、着物需要の減少等によって次第に衰退していきました。

3年生の『北の塔』の活動では、数年前から「白根絞りサークル」の皆さんからご協力いただき、実際に

白根絞りで品物を製作し「しろきた市場」で販売しています。



白根絞りサークルの皆さん

「白根絞りサークル」の皆さんの

お話しによると、白根地区は中之口川の豊かな水源があったこと、味方地区、新飯田地区では綿が作られ、それをもとに糸が生産されていたこと等から、白根地区には染物屋が10数件あったとのこと。白根絞りを

作る家の子どもは、学校から帰ると手伝わ

されるほど忙しく、地区全体が潤っていたそうです。



一度は途絶えたこの白根絞りは昭和63年、様々な人への聴き取り、残されていた映像の確認等で復活。現在はサークルの皆さんによって伝統が受け継がれています。

先日、学校運営協議会での意見交換では「伝統を広めることも地域貢献だ」という発表がありました。単なる作品製作だけで留まらない気がしてきますね。



「北の塔」社長、副社長、取締役の皆さん（左）と、「学校運営協議会」の様子（右）

R7「北の塔」ロゴ

地域貢献企業



イメージキャラクター「きたろう」

◆ 間もなく夏休み ◆

4月7日（月）の始業式、入学式からあつという間に7月半ばです。夏休みが間近になりました。近年の夏はすっかり猛暑が定番となつてしまい、30℃くらいでは涼しいとさえ感じます。熱中症に十分に気を付けるのはもちろん、水や車の事故にも注意して過ごしてください。



令和7年7月15日（火）

令和7年度 第6号

文責 校長 山口 靖博